

## MR18

18-Input Digital Mixer for iPad/Android Tablets with  
16 Midas PRO Preamps, Integrated Wifi Module and  
Multi-Channel USB Audio Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

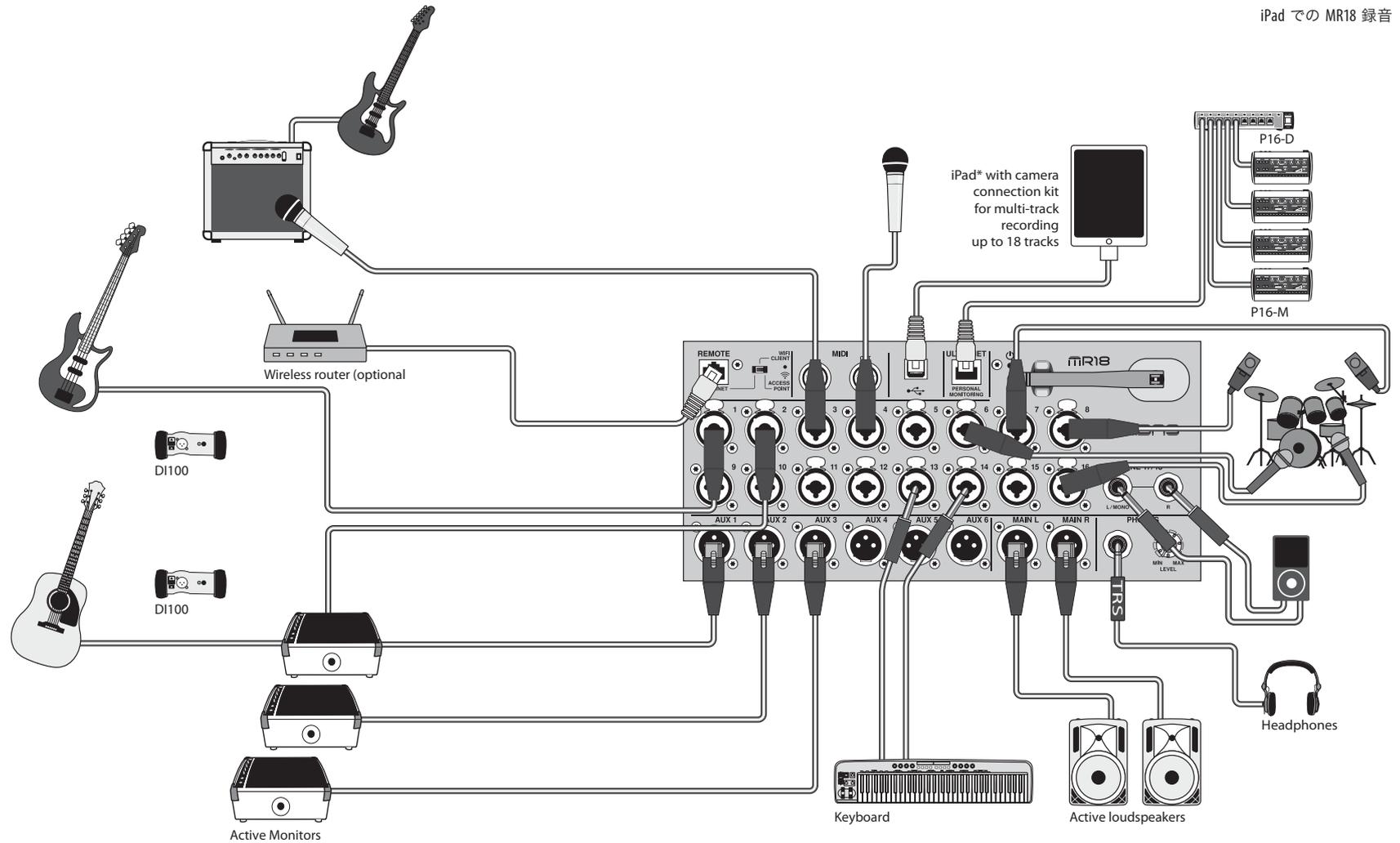
**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

# MR18 フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

JP



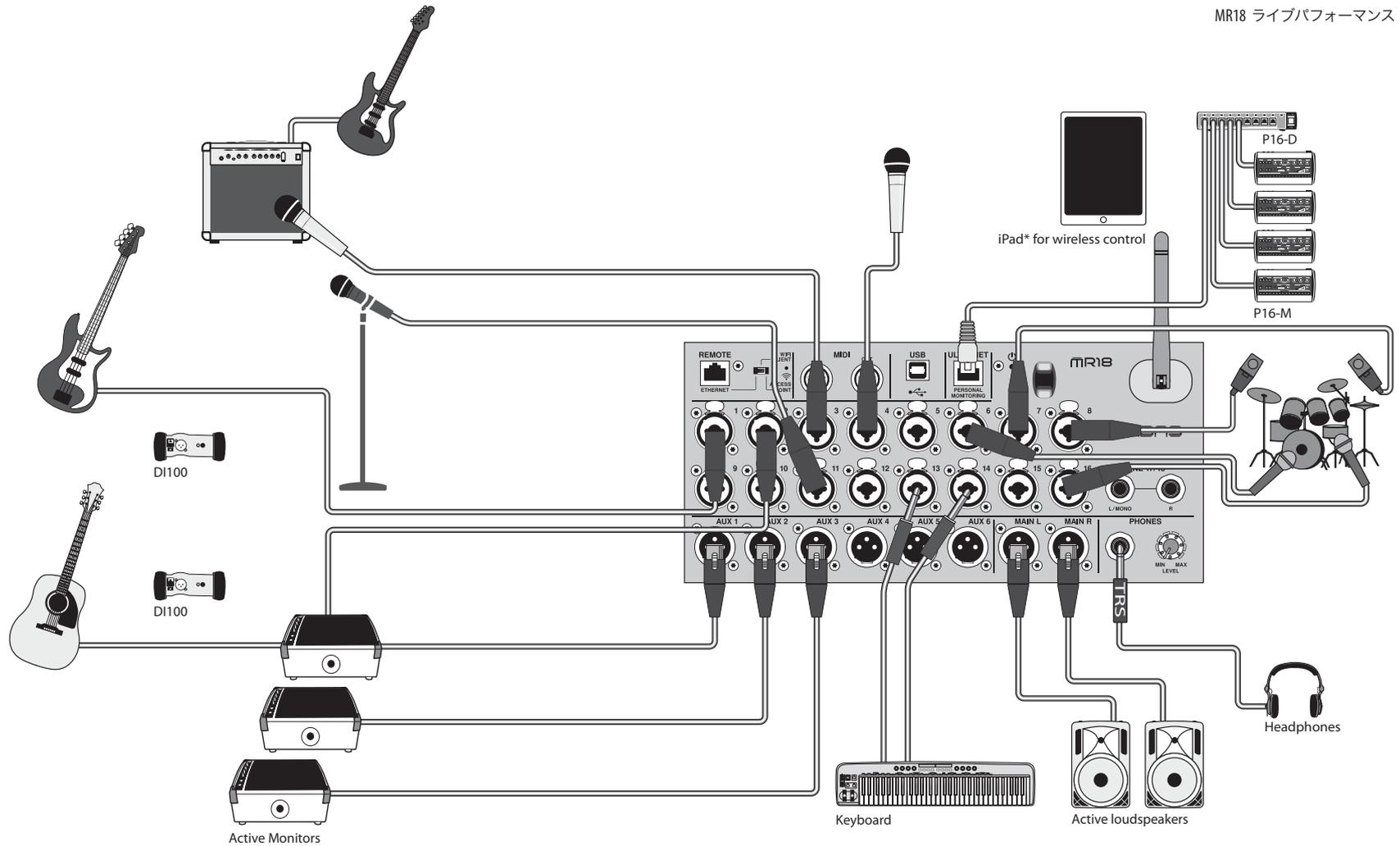
\*iPad はアップル社の商標です。iPad は含まれていません。

# MR18 フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

JP

MR18 ライブパフォーマンス



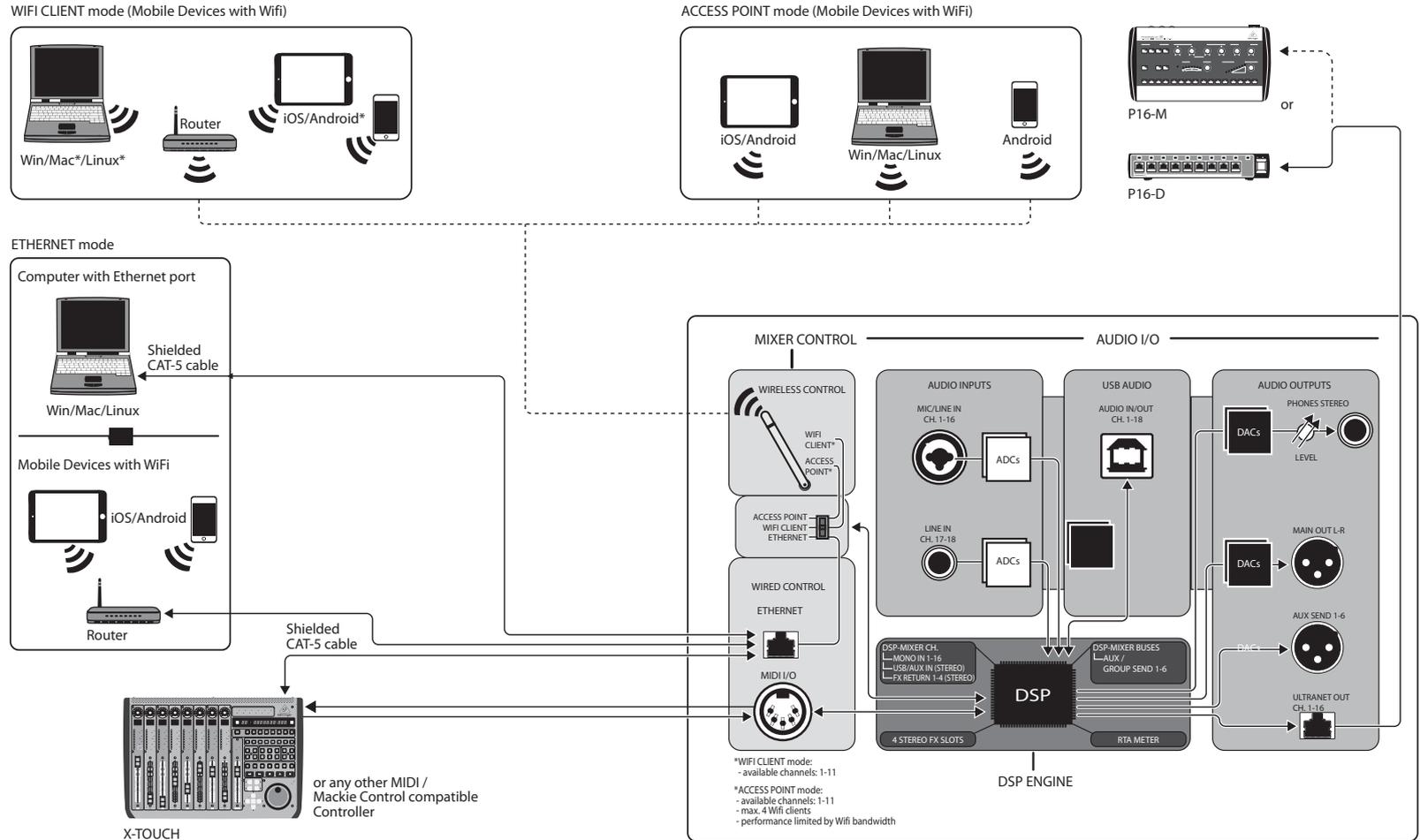
\*iPad はアップル社の商標です。iPad は含まれていません。

# MR18 フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

JP

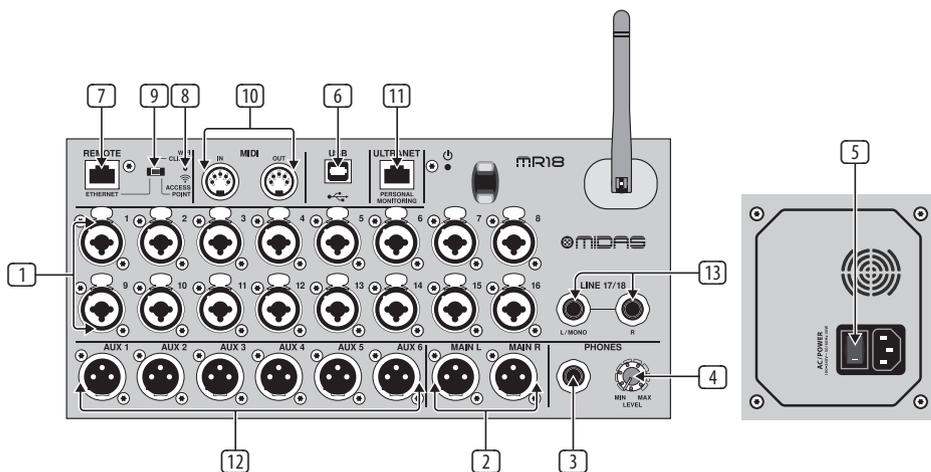
MR18 システムの概要



\*Mac は AppleInc. の商標です。Linux は米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。Android は Google Inc. の商標です

# MR18 コントロール

JP



## ステップ 2: コントロール

- ① **INPUTS** は、バランス型およびアンバランス型の XLR および 1/4" プラグを受け入れます。
- ② **OUT L & R** ジャックは、メインミックス信号を XLR ケーブルを介して PA またはモニタースピーカーに送信します。
- ③ **HEADPHONE** ジャックは、ヘッドフォンを接続するための 1/4" TRS プラグを受け入れます。
- ④ **PHONES LEVEL** ノブは、ヘッドホンジャックの出力を決定します。
- ⑤ 5. **POWER** スイッチで電源の ON / OFF を切り替えます。ユニットの電源を入れると、メイン入力パネルの LED が点灯します。
- ⑥ **USB** ポート (タイプ B) は、マルチチャンネルオーディオおよび MIDI 録音用のコンピュータに接続するための USB ケーブルを受け入れます。最大 18 のオーディオチャンネルを同時に録音でき、18 のチャンネルを再生できます。ミキサーアプリケーションでは、録音と再生用のチャンネルを割り当てることができます。同じ USB 接続で 16 チャンネルの MIDI I/O を送信することもできます。
- ⑦ **ETHERNET** ポートを使用すると、LAN または接続された Wifi ルーターを介してミキサーを制御できます。
- ⑧ **RESET** ボタンを 2 秒間押し続けると、コンソールがデフォルトのネットワークパラメータにリセットされます。10 秒間押し続けると、すべてのコンソール機能が工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。
- ⑨ **REMOTE** スイッチは、イーサネット、Wifi クライアント、またはアクセスポイントから選択します。詳細については、ネットワーク接続の章を参照してください。
- ⑩ **MIDI IN / OUT** ジャックは、外部機器との間で MIDI 信号を送受信します。詳細については、MIDI 実装チャートを参照してください。
- ⑪ **ULTRANET** ポートを使用すると、Behringer P16-M パーソナルモニターリングミキサーまたは P16-D 配信ハブを接続できます。
- ⑫ **AUX SEND** ジャックは、XLR コネクタを介してモニターミックスをアクティブステージモニターまたはヘッドフォンミキサーに送信します。
- ⑬ 入力 17 および 18 は、ラインレベルソースを接続するためのバランス型 1/4" ケーブルを受け入れます。これらの入力は、他の入力チャンネルと比較して処理が制限されています。

# MR18 ネットワーク接続

## ステップ 3: ネットワーク接続

### ネットワーク接続

MR18 は、イーサネット LAN 経由、または Wifi クライアントまたはアクセスポイントとしてワイヤレスでミキサーにアクセスできるワイヤレスネットワークルーターを組み込むことにより、すべての煩わしさを解消します。選択は REMOTE スイッチ [9] で行います。これらのネットワーク設定は、「セットアップ/ネットワーク」ページの MR18 リモートコントロールアプリケーションで表示または変更できます。

### IP アドレスと DHCP

接続シナリオに応じて、MR18 は、ソフトウェア制御のためにタブレットまたは PC を接続するための最大 3 つのオプション (DHCP クライアント、DHCP サーバー、および固定 IP 操作) を提供します。選択したオプションに応じて、接続の方法が異なります。

DHCP クライアントモードは、イーサネット LAN または Wifi クライアント操作で使用できます。ミキサーは、接続しようとしているネットワーク内の IP アドレスを所有する DHCP サーバーから IP リースを自動的に要求します。

DHCP サーバー (DHCP) は、オプションでイーサネット LAN 接続に使用でき、アクセスポイントの操作では標準です。ミキサーは IP アドレスを所有し、そのネットワークへのアクセスを要求するデバイスに IP リースを提供します。ミキサーは常に IP アドレス 192.168.1.1 を使用し、IP アドレス 192.168.1.101 ~ 192.168.1.132 をクライアントに割り当てます。

静的 IP は、イーサネット LAN および Wifi クライアントの操作に使用できます。ミキサーは、ネットワークに登録するために指定した固定 (静的) IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを使用します。手動で指定するアドレスが、同じネットワーク上の他のアドレスと競合していないことを確認してください。手動で設定する特別な理由がない限り、通常は DHCP モードを使用することをお勧めします。

**注意:** 現在選択されている接続モードのパラメータを変更すると、ソフトウェアがコンソールから切断されます。コンソールが接続先のネットワークと互換性のない固定 IP アドレス用に誤って構成されている場合、コンソールにアクセスできなくなります。この場合、他の 2 つの接続モードのいずれかを使用して、アクセスを回復し、設定を修正できます。それでも問題が解決しない場合は、リセットボタンを 2 秒間押し続けて、デフォルトのネットワーク設定に戻します。



### ミキサー名とイーサネット設定画面 イーサネット/ LAN

このモードは、DHCP クライアント (デフォルト)、DHCP サーバー、および固定 IP 操作をサポートします。

MR18 が DHCP サーバーが存在しないネットワークに接続されている場合、ミキサーは自動 IP アドレス (範囲 169.254.1.0 - 169.254.254.255) を生成することに注意してください。LAN 接続にはセキュリティオプションがないため、そのネットワーク内のどのデバイスも接続された MR18 コンソールを制御できます。LAN / イーサネット経由で Wifi ルーターに接続する場合は、そのルーターのセキュリティ設定が不正アクセスを防止していることを確認してください。



### Wifi クライアント設定画面

#### Wifi クライアント

このモードは、DHCP クライアント (デフォルト) および固定 IP 操作をサポートします。MR18 は、Wifi クライアントモードで WEP、WPA、および WPA2 セキュリティメカニズムをサポートでき、Wifi チャンネル 1~11 で動作します。

既存のネットワークに接続するには、正しい SSID (ネットワーク名) とパスワードを指定する必要があります。WEP パスワードは、5 文字または 13 文字の長さである必要があります。提供された SSID とパスワードが正しくない場合、ミキサーにアクセスできません。この場合、ネットワークパラメータをリセットし、別の接続モードを使用してアクセスを回復する必要があります。

イーサネット接続モードは、Wifi クライアントモードの構成に使用できます。イーサネットモードで接続されている間、ミキサーは利用可能なワイヤレスネットワークをスキャンし、SSID ネットワーク名、電界強度、およびセキュリティ方法を表示できます。優先するワイヤレスネットワークを選択することにより、この情報をアプリケーションの Wifi クライアントセットアップページに自動的にコピーできます。次に、そのネットワークのセキュリティパスワードを入力するように求められます。イーサネットから Wifi クライアントモードに切り替えた後、ミキサーは選択したワイヤレスネットワークに自動的に接続する必要があり、同じネットワークに接続されているすべてのデバイスのリモートアプリケーションによって表示されます。



### アクセスポイント設定画面

#### アクセス・ポイント

このモードは、Wifi チャンネル 1~11 で動作する、最大 4 つのクライアントでの DHCP サーバー操作のみをサポートします。セキュリティは、WEP 40 ビット (5 ASCII 文字) または WEP 104 ビット (13 ASCII 文字) を介してサポートされます。デフォルトでは、ミキサーはモデル名とミキサーの一意の MAC アドレスの最後のビットで構成されるネットワーク名を使用します (例: MR18-17-BE-C0)。デフォルトの IP アドレスは 192.168.1.1 であり、セキュリティは適用されません。

制御ソフトウェアは、Android および iPad タブレット、および PC / Mac / Linux コンピューターで使用できます。midasconsoles.com にアクセスして、PC / Mac / Linux ソフトウェアをダウンロードします。タブレットソフトウェアは、デバイスのアプリストアからダウンロードできます。

制御ソフトウェアの操作の詳細については、midasconsoles.com の製品ページにアクセスして完全なマニュアルをダウンロードしてください。

# MR18 ネットワーク接続

## ステップ 3: ネットワーク接続

### 入門

#### MR18 ミキサーへの最初の Wifi リモート接続

1. デバイスのリモコンアプリをダウンロードしてインストールします。
  - Android スマートフォン/タブレット : Google Play \*ストアの M-AIR Android
  - Apple iPad: Apple\* AppStore の M-AIR for iPad
  - PC: midasconsoles.com の Windows、Mac、または Linux 用の M-AIR EDIT
2. MR18 ミキサーの REMOTE スイッチを ACCESS POINT モードに設定し、ミキサーの電源を入れます。
3. RESET ボタンを 2 秒間押し続けて、ミキサーのネットワーク設定をデフォルト値にリセットします。これは Wifi アイコンの上の小さな穴にあり、到達するにはペーパークリップまたは同様のツールが必要です。
4. リモコンの電源を入れ、ネットワーク設定を開きます。

### Android スマートフォン/タブレット:

1. Android システムで [設定] / [ワイヤレスとネットワーク] ダイアログを開始します。
2. スイッチ「Wi-Fi」オン。
3. クリック「Wi-Fi」ネットワークを選択します。ネットワークのリストから、ミキサーの名前を選択します (例:「M18-19-1B-07」)。数秒後、ステータスが「接続済み」に変わります。
4. M-AIR for Android アプリを開くと、同様の情報が表示されます。
  - ミックスアクセス=すべて
  - IP アドレス= 192.168.1.1
  - Wifi ロック=なし
  - MR18-19-1B-07 に接続された Wifi
5. ミキサーの制御中にデバイスが別のネットワークに自動的に接続できないようになる場合は、この特定の Wifi ネットワークへの接続をロックすることを選択できます。
6. クリック「接続する」アプリをミキサーに接続するには、ミキサーの名前をタップします。注-ミキサーファームウェアがサポートされていないことを通知する警告が表示された場合は、ファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします (詳細については、midasconsoles.com の MR18 ページを参照してください)。ただし、とにかく接続することを選択できます。
7. アプリがミキサーに接続されると、すべてのパラメーターが自動的にロードされます。ミキサーのすべてのミキシング機能をリモートで探索して楽しんでください!

### Apple iPad:

1. iOS で [設定] / [Wi-Fi] ダイアログを開始します。
2. 「Wi-Fi」をオンにします。
3. ネットワークのリストからミキサーの名前を選択します (例:「MR18-19-1B-07」)。数秒後、ステータスが「接続済み」に変わり、チェックマークが表示されます。
4. M-AIR for iPad アプリを開くと、そのネットワークで見つかった MR18 ミキサー (デバイス) とその IP アドレス (この場合は 192.168.1.1) が表示されます。
5. ミキサーのアイコンをタップして、アプリをミキサーに接続します。注-ミキサーファームウェアがサポートされていないことを通知する警告が表示された場合は、ファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします (詳細については、midasconsoles.com の MR18 ページを参照してください)。ただし、とにかく接続することを選択できます。
6. アプリがミキサーに接続されると、すべてのパラメーターが自動的にロードされます。ミキサーのすべてのミキシング機能をリモートで探索して楽しんでください!

### PC: M-AIR EDIT Windows、Mac、または Linux の場合

1. オペレーティングシステムで [ワイヤレスネットワーク接続] ダイアログを開きます。
2. 「WLAN」または「Wi-Fi」アダプターがオンになっていることを確認します。
3. ワイヤレスネットワークのリストを表示し、ミキサーの名前を選択します (例:「MR18-19-1B-07」)。数秒後、ステータスが「接続済み」に変わり、チェックマークが表示されます。
4. Win/Mac/Linux 用の M-AIR エディターを開き、「セットアップ」をクリックします。リストには、そのネットワークで見つかった MR18 ミキサーが、名前と IP アドレス (この場合は 192.168.1.1) とともに表示されます。
5. ミキサーの名前 (「MR18-19-1B-07」など) をクリックし、アプリをミキサーに接続するためにミキサーから PC に同期することを確認します。ミキサーファームウェアがサポートされていないことを通知する警告が表示された場合は、ファームウェアを最新バージョンに更新することをお勧めします (詳細については、midasconsoles.com の MR18 ページを参照してください)。ただし、とにかく接続することを選択できます。
6. アプリがミキサーに接続されると、すべてのパラメーターが自動的に転送されます。ミキサーのすべてのミキシング機能をリモートで探索して楽しんでください!

# 技術仕様

処理	
処理チャンネルの数	18 入力チャンネル、4 FX リターンチャンネル、6 AUX バス、メイン LR
内部効果エンジン	4 真のステレオ
信号処理	40 ビット浮動小数点
A/DD/A 変換	24 ビット @ 44.1/48 kHz、115 dB ダイナミックレンジ
アナログ I/O レイテンシ*	0.8 ミリ秒

コネクタ	
Midas PRO によって設計されたプログラム可能なマイクプリアンプ	16 個の XLR/TRS コンボジャック、バランス型
ライン/補助入力、ステレオ	2 TRS、バランス
主な出力	2 XLR、バランス
補助出力	6 XLR、バランス
電話の出力	1 TRS
ウルトラネット	1 RJ45
MIDI 入力/出力	1/1 DIN
イーサネット	1 RJ45
オーディオ/MIDIインターフェース	1 USB タイプ B

マイク入力特性	
プリアンプの設計	ミダス PRO
THD +ノイズ、ユニティゲイン、0 dBu、1 kHz	0.005%、重み付けなし
ファンタム電源、入力ごとに切り替え可能	48 V
EIN ノイズ、+60 dB ゲイン、150 R ソース	-125 dBu、22 Hz-22 kHz 非加重
CMRR、XLR、1 kHz @ ユニティゲイン	通常 65 dB
CMRR、XLR、1 kHz @ +60 dB ゲイン	通常 90 dB

入出力特性	
周波数範囲、@ 48 kHz サンプルレート、±0.5 dB	20 Hz ~ 20 kHz
ダイナミックレンジ、アナログ入力からアナログ出力	107 dB、22 Hz-22 kHz 非加重
A/D ダイナミックレンジ、プリアンプからコンバーター	110 dB、22 Hz ~ 22 kHz の重み付けなし
D/A ダイナミックレンジ、コンバーター、出力	111 dB、22 Hz~22 kHz の重み付けなし
クロストーク除去 @ 1 kHz、隣接チャンネル	90 dB
マイク/ライン 1-16 入力インピーダンス XLR ジャック、アンバランス。//バル。	10 kΩ
非クリップ最大入力レベル、XLR	+23.5 dBu
ライン 17-18 入力インピーダンス、TRS アンバランス。//バル。	20 kΩ/40 kΩ
非クリップ最大入力レベル、TRS	+21 dBu

出力特性	
出力インピーダンス、XLR	50 Ω
最大出力レベル、XLR	+21 dBu
電話の出力インピーダンス	50 Ω
最大電話出力レベル	+21 dBu
ノイズ@ユニティゲイン、1 つの入力が割り当てられ、XLR および TRS	-86 dBu、22 Hz-22 kHz 非加重
ミュート時のノイズ、XLR および TRS	-90 dBu、22 Hz-22 kHz 非加重

USB オーディオ / MIDI インターフェース	
タイプ	USB 2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 或更高版本**、Mac OS X 10.6.8 或更高版本、iOS 7 或更高版本 (iPad)、Linux
サポートされているサンプルレート	44.1/48 kHz
I/O オーディオチャンネル	18 x 18
I/O MIDI チャンネル	16 x 16 (1ポート)

WLAN モジュール	
アンテナ	外部、SMA コネクタ、50 Ω
アクセスポイント、クライアント数	最大 4
IEEE 802.11 b/g 標準	2.4 GHz
周波数範囲	2412-2462 MHz
WLAN チャンネル (Wifi クライアント、アクセスポイント)	1-11
最大出力電力	19 dBm (802.11 b) / 19 dBm (802.11 g)

力	
スイッチモード電源	オートレンジ 100-240V、(50/60 Hz)
消費電力	30 W

物理的	
標準動作温度範囲	5°C - 40°C (41°F - 104°F)
寸法	333 (W) x 149 (D) x 140 (H) mm、(13.1 x 5.9 x 5.8")
重量	3.9 kg (8.6 ポンド)

\*挿入効果を除く、すべてのチャンネルおよびバス処理を含む

\*\*midasconsoles.com からダウンロードできる WindowsASIO ドライバー。Mac OS X および iOS の CoreAudio と互換性があります

\*\*\*Mac OS Xは、Apple、Inc. の商標です。

警告: 住宅環境でこの機器を操作すると、無線干渉が発生する可能性があります。

# JP 技術仕様

## MIDI 参数实现

MIDI RX / TX	CH	CMD	番号。	値	コメント
スナップショット	1	Prg Chg	1-64		チャンネル 1 のプログラム変更 1-64 を使用して、ミキサー内に保存されているスナップショット 1-64 を呼び出すことができます。
<b>フェーダー</b>					
CH フェーダー	1	CC	0~15	0 ... 127	入力チャンネル 1~16
CH フェーダー	1	CC	16	0 ... 127	AuxLineIn 17-18 / USB レコーダー再生 (ステレオ)
CH フェーダー	1	CC	17-20	0 ... 127	FX1-4 リターン (ステレオ)
フェーダーを送る	1	CC	21-26	0 ... 127	Aux1-6 / サブグループ
フェーダーを送る	1	CC	27-30	0 ... 127	FX1-4
メインフェーダー	1	CC	31	0 ... 127	メイン LR (ステレオ)
<b>ミュート</b>					
CH ミュート	2	CC	0~15	0/127	入力チャンネル1~16
CH ミュート	2	CC	16	0/127	AuxLineIn 17-18 / USB レコーダー再生 (ステレオ)
CH ミュート	2	CC	17-20	0/127	FX1-4 リターン (ステレオ)
ミュートを送信	2	CC	21-26	0/127	Aux1-6 / サブグループ
ミュートを送信	2	CC	27-30	0 ... 127	FX1-4
メインミュート	2	CC	31	0/127	メイン LR (ステレオ)
<b>パノラマ/バランス</b>					
CH パン	3	CC	0~15	1 ... 127	パノラマ入力チャンネル 1~16、64 =中央
CH パン	3	CC	16	1 ... 127	バランス AuxLineIn17-18 / USBレコーダー再生、64 =中央
CH パン	3	CC	17-20	1 ... 127	バランス FX1-4 リターン、64 =センター
Aux PAN (サブグループ)	3	CC	21-26	1 ... 127	パノラマ Aux1-6 / サブグループ、64 =中央
メインバランス	3	CC	31	1 ... 127	バランスメイン LR、64 =中央
<b>X OSC</b>					
テキストベースの OSC		SYX			を介してサウンドコントロールを開く  Sysex F0 00 20 3232 テキスト F7 と i°テキストj ±16 進形式の OSC 文字列で、長さは最大 39 kB

# その他の重要な情報

## JP その他の重要な情報

### 1. ヒューズの格納部 / 電圧の

**選択:** ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くがないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



これにより、Music Tribe は、この製品が指令 2014/53/EU、指令 2014/30/EU、指令 2014/35/EU、指令 2011/65/EU、および改正 2015/863/EU、指令 2012/ に準拠していることを宣言します。19/EU、規則 519/2012 REACH SVHC および指令 1907/2006/EC。

EU DoC の全文は、<https://community.musictribe.com/> で入手できます。

EU 代表: Music Tribe Brands DK A/S  
住所: Gammel Strand 44, DK-1202 København K, デンマーク

英国代表: Music Tribe Brands UK Ltd.  
住所: 6 Lloyds Avenue, Unit 4CL London EC3N 3AX, United Kingdom

